

(苫小牧市) 公衆無線LAN環境整備支援事業・事業の概念図

目的

避難所として指定されている市内小中学校24校に無線LAN(Wi-Fi)のアクセスポイント(AP)を設置することで、避難所機能の利便性向上を図る。また、平時にはこのAPを教育用として利用することで、教育環境の整備を行う。

事業の概要

市内小中学校24校を対象に、避難所として主に利用される屋内運動場、及び校舎各階のいずれかの特別教室の合計93箇所Wi-Fiアクセスポイント(AP)を設置する。災害時に避難者向けネットワークである「防災LAN」を有効にすることで、避難者が持ち込んだスマートフォン、タブレット等が、近くのAPを通じて「防災LAN」の先にあるインターネットを利用可能とする。

平時には教育用ネットワークである「学習LAN」のみが有効となっており、電子証明書による認証を受けた学習LAN用の端末(タブレット等)のみ利用可能とする。

